

川崎市のこれからの教育の方向性を示す、新しい教育プランが始まっています。
メインテーマは、「一人ひとりが学びの主役」
「かわさき教育プラン」

社会の不確実性が高まり、先行きを見通しにくい「人生 100 年時代」。
学び続ける力がますます求められています。

川崎市では、令和 8 年度から 19 年度までの 12 年間を計画期間とする新しい「かわさき教育プラン」を策定しました。この動画では、そのポイントをご紹介します。

本計画では、「市民一人ひとりが学びの主役」、「自分たちで考え、解決していく学び」、そして「人材が循環する地域づくり」を基本的な考え方としています。

「めざすもの」は、「一人ひとりが輝き、共に未来をつくる」です。誰もが多様な個性や能力を伸ばし、充実した人生を主体的に切り拓くことができる人を育てる「人づくり」と、多様性を尊重し、共に支え高め合い、誰もが安心して育つことのできる「社会づくり」を進めます。

また、「みんなと共有したい価値観」として、「一步、踏み出す」「自分の幸せ みんなの豊かさ」「多様性を可能性へ」の 3 点を掲げます。これらを川崎らしい人づくり、社会づくりを進める「合言葉」としていきます。

令和 8 年度から 11 年度までの 4 年間に重点的に取り組むテーマを「Key Project」として 4 つにまとめました。

Project1 は、探究的な学びの充実です。

技術や社会の変化が加速する中、求められるのは自ら考え、行動する力です。川崎市では、「探究的な学び」を、子どもの「どうして?」「不思議だな」をもとに、地域に学び地域に関わる「かわさき探究 2.0」にアップデートします。子どもたちの社会参画に向けた力を育み、行動へとつなげていきます。

Project2 は、切れ目のない支援です。

すべての子どもが自分らしく安心して学び続けられるよう、学校だけでなく関係する組織がつながり、児童生徒一人ひとりに応じた支援を進めます。そして、自立や社会参加に必要な力を培っていきます。

Project3 は、教職員が働きやすい環境づくりです。

教職員が安心して働き、専門性を高める時間を確保したり、子どもたちと向き合う時間を大切にできるよう、働き方改革と人材確保をセットで進めます。学校を支える環境を整えることで、教育の質と学校現場の魅力の向上をめざします。

Project4 は、「学び」と「学び合い」社会の実現です。

変化の激しい時代を豊かに生きるには、既存の価値感にとらわれず、生涯にわたり学び続けることが重要です。多様な価値観を尊重し合い、学校だけではなく日々の暮らしの中で共に学び合う。そこから、新たな考えや価値を生み出し、よりよい社会の実現につなげていきます。

4 つの **Key Project** は相互に関連する一体的な取組です。これらを組み合わせることで、「めざすもの」の実現をめざしていきます。

Project3 で、教職員が働きやすい環境づくりを進めることで、教員が子どもと向き合う時間や、専門性を高める時間を確保し、Project1 の探究的な学びや、Project2 の切れ目のない支援など、教育の質の向上を図り、児童生徒の資質・能力の育成につながる好循環を生み出します。

地域では、Project4「学び」と「学び合い」を広げていきます。子どもたちが卒業後も、社会の変化に対応しながら学び続けられる環境づくりを進めます。学び続ける地域の大人たちが Project1 の子どもたちの探究的な学びを支えるなど、学び合う大人の姿が子どもたちのロールモデルとなるような好循環を生む地域づくりを進めます。

川崎の教育は他にも変わります。
体育館・武道場への空調整備により、教育環境の改善や避難所機能の強化を行います。

また、学習の理解度をデータで見える化し、一人ひとりに応じた支援につなげます。

「校門で待つ朝がなくなる」取組として、朝の居場所づくりを進めます。

学校司書の配置により、子どもたちの主体的な学びを支えています。

さらにこちらでご紹介した以外にもかわさき教育プランには、多くの取組があります。詳しくはホームページをご覧ください。